



2020. 4. 25 (根香寺周辺で撮影)

ノムラモミジ

(ムクロジ科カエデ属)

ノムラモミジは江戸時代から庭木として育てられ、北海道から九州まで広い地域で見られます。

多くのカエデは秋に紅葉しますが、この種は春先から秋まで紫がかった赤色の葉を保つことから「濃紫モミジ」と言われるようになりました。ちなみにこの色はアントシアニンという色素の色であり、この色素が葉緑体を紫外線などから守っているそうです。